

地域密着型サービス運営推進会議報告書兼議事要旨

平成18年3月14日厚生労働省令第34号第85条1項及び2項の規定に基づき、平成21年3月14日運営推進会議を開催したので、その記録を作成し、これを公表します。

平成21年3月17日

千葉県茂原市茂原1527番地5-102

設置主体) 株式会社 相生

代表者) 代表取締役 筒井 将之

事業主体及び組織の概要

(介護保険事業所番号)

1275900213

(施設種類及び名称)

グループホーム ゆうなぎ九十九里

管理者兼ホーム長 並木 勝利

計画作成担当者 石橋 真理

※ホーム長は当社職制

(事業主体)

〒297-0026

(本店所在地) 千葉県茂原市茂原1527番地5-102

(商号) 株式会社 相生 (かぶしきがいしゃそうせい)

(代表者) 代表取締役 筒井将之

電話0475(22)4607 FAX0475(22)4653

(所在地)

〒283-0102

千葉県山武郡九十九里町小関2316番地1

電話0475(70)7333 FAX0475(70)7335

(開設年月日及びユニット数と利用定員)

平成17年10月1日 1ユニット・利用定員9人

(グループホームの併設施設)

ケアステーションつむぎ(訪問介護)

※ゆうなぎ九十九里と、ケアステーションつむぎは、事業主体の介護事業部門に属し、介護事業部門を統括する職として、所長を置き、その任に次の者が当たっている。

専務取締役所長兼ケアステーションつむぎ管理者 小川 功一

## 運営推進会議の概要

日 時：平成21年3月14日 13時30分から14時45分頃

会 場：当ホームのリビングダイニングにて

出席者：運営推進会議の構成

### 当ホーム

代表者 代表取締役 筒井 将之

管理者（ホーム長：当社職制）並木 勝利

主任（当社職制） 澤舘 宗宙

計画作成担当者 石橋 真理

### 委員

入 居 者 3名

利用者家族 不参加

地域住民代表 2名（地元選出町議会議員兼消防団幹部、小関納屋区長）

地 域 住 民 1名（近隣住民）

有 識 者 2名（民生委員）

町当局職員 1名（健康福祉課）

## 議事要旨

前主任の退職にともない、当社従業員の澤舘宗宙を、当ホームの主任に抜擢し、同人より自己紹介をさせた。同人は自己紹介を行った。同人は略歴として、東金市にある城西国際大学人文学部福祉文化学科を卒業していることを明らかにし、代表者が当ホームをして同人に期待を寄せていることを述べた。

前回の運営推進会議から今回に至るまでの間における活動、行事等の報告を、ホーム長の並木と主任の澤舘が、当ホーム発行の広報誌、ゆうなぎかわら版1月号から3月号を中心に行った。なお、同かわら版は、例えば1月号としても、その記載内容は前月の様子であると並木が述べた。

### 平成21年1月号（平成20年12月の様子）

東金の丘陵にある山王台公園に紅葉の散策に出かけた。あわせて、東金市内のファミリーレストランに誕生日会を兼ねて食事をした。この誕生日会において、このレストランからケーキと写真撮影のプレゼントがあった。ちょうど、昼食の時間帯に重なり、非常に目立ち、よかったと思っている。

県内で紅葉と言えば、養老溪谷が筆頭に挙がるが、当ホームの入居者様では、養老溪谷の踏破は困難で、東金市の山間部を中心に職員で紅葉を観るに好適地を探していたところ、丘陵の上に山王台公園という公園を見つけ、眺望もよく展望台もあり、紅葉も観るに好適であったので、ここにしました。東金市、九十九里町が一望できた。

クリスマス会を行った。毎年、12月25日前後に行った。小関納屋婦人会の皆様には毎年お越しいただき、舞踊、童謡の披露を行って頂いた。入居者様に実に好評で、来年度以降も是非にご協力をお願いしたい。職員等による出し物として、職員と職員の家族による楽器演奏、マジック等を披露した。集合写真にあるように、みなさん、とてもよい表情をしておられると思う。

なお、クリスマス会において、入居者様のご家族様から、入居者様ご自身がおやりになることのできるものについていかがかと、そのようなご意見を頂戴した。至極、もったもである。よって、来年度以降検討してまいりたい。

クリスマス会については、九十九里町当局広報担当部署の取材を受けた。ご家族様の全員の参加を得、盛大なクリスマス会になったと思う。

#### 平成21年2月号（1月の様子）

例年、この時期は、インフルエンザ、ノロウイルスなどの感染症の予防に重点を置き、群衆を避ける、手洗いうがいの徹底をしている。

今年の正月は、希望する入居者様を募り初日の出を観に片貝漁港に出かけた。その後、ご入居者をお連れし、近隣の神社に初詣に出かけたところ、この神社で甘酒と雑煮の馳走にあずかった。

今年の正月のおせち料理には、カニ、雑煮、お屠蘇を用意し飲める方にはお楽しみ頂いた。

東金の和食のファミリーレストランに出かけ、食事会を行った。感染症予防の観点からすると一見矛盾するものの、実生活においては歳末、年始は外出する機会が多く、よって、事後の予防に努め行った。

入居者様の中で、当町出身の方が米寿を迎えた。町当局からお祝い金とお米を頂戴した。このご入居者様が、お祝い金で入居者様と職員と息子さんにお菓子をお買いになってくれた。来年は、本日同席のやはり当町出身の入居者様も米寿を迎えられる。また、同席はし

ていないが、当町出身の入居者様が今年、米寿を迎えられる。

クリスマス会の際に、入居者様のご家族様から、入居者様の近況報告等を、インターネットを介してWEBで閲覧などできないかどうかのご意見を頂戴した。所長がこれに対応して構築した。パソコンであると、所有の有無がご家族様によることもあろうかと思うので、普及率の高い携帯電話でも閲覧できるような仕組みを構築するようにする。

### 3月号（2月の様子）

河津桜、梅を観に出かけた。

近隣の長生郡白子町においては、この時期に河津桜が咲き、河津桜を主にした催しを行っているので、これを観に行ったものである。春を感じて頂けるよう、徐々に外出を増やしていく。

近隣の山武郡横芝光町（合併前の山武郡横芝町）の坂田城址に梅を観に出かけた。梅祭りを催しており、雑煮の馳走にあずかった。この城址の近隣の沿道に菜の花が綺麗に咲いており、集合写真を撮影した。

石橋が次のとおりに補充した）外出は、その日の天候や、催し物の情報、入居者様の体調など総合的に勘案し、職員の判断で行っている。よって、医療機関の受診等で留守にしている場合には、参加できない場合もある。このとき、白子町の河津桜を観に行くことができなかった入居者様には関しては、河津桜をご覧になりたいとお申し出があり、山武郡大網白里町の医療機関に受診した帰途に立ち寄り、ご覧頂いた。

節分には恵方巻きを皆さんとともに作り、食した。

外出を控えていたこともあったが、入居者様には罹患することなかった。逆に、職員が各1名ずつ、インフルエンザとノロウイルスに感染し発症、休暇を取って静養し、本日現在復帰している。

なお、3月5日に山武市（合併前の山武郡成東町）のいちご園にいちご狩りに出かけている。※（3月号は2月の様子の掲載や記載なので、3月号にはない）このいちご園は昨年もお出かけており、車椅子でも入って行けるような通路の幅員を確保し、また、腰高の高さでいちごを摘むことができるよう、高齢者等への配慮がなされているいちご園である。

### 3月号までの総括

入居者様のご希望を可能な限り採用し、外出や行事等、行ってまいりたい。

### 今年度（平成20年度）を総括し来年度（平成21年度）の経営計画、運営方針

当社代表者の筒井が次のとおりに述べた。

#### 1 消防設備の整備（設置）

- ① 自動火災通報装置
- ② スプリンクラー（既存の建物については、総務省消防庁が定めている簡易式のものである。配水管が室内の天井等に露出する）

#### 2 消防の運用

- ① 山武郡市消防本部九十九里分署から消防職の派遣を受けた上で、消火訓練と避難訓練
- ② ①につき、地元消防団も合わせて参加願いたい
- ③ 従前より議論のある、入居者の特定に資する情報を記載した台帳などの情報を、地元消防団の長、または地元の自治組織の長に提出すること、当ホームからの情報提供・・・入居者様を見失ったときに、地域の皆様とどのように連携して発見にいたるか。

#### 3 既存ユニットと同一規模の増ユニット

現在、定員9名の1ユニットのところ、定員9名の1ユニットを新たに増設したい。増設に関しては九十九里町当局と是々非々で議論し、詰めてまいりたい。

以上3点については、地元の皆様のご協力とご支援がなければ為し得ない。

現在、煙を感知してブザーが鳴る報知機は設置している。

1の消防設備については、予算化が実現すれば備わる。

しかし、以上2の③については、昨秋に入居者様の所在を6時間半にわたって確認できなかった、すなわち、入居者様が深夜に当ホームを出られ、ご自宅で無事に発見されて事なきを得たことを踏まえてのことである。前回の運営推進会議では、今後同様事案の絶無を期すと申し上げたが、可能性をゼロにすることはできない。企業経営である以上、一定規模の拡大によるメリットを追求するところではあるが、入居者様の身体、生命、財産を守ることができずに何がグループホームであるのか。規模が大きくなれば、以上2がきちんと浸透して運用できなければ、きっと禍々しいことが発生する。そうなれば、経営も何も無に帰すのである。

当ホームは認知症の診断書が出ている方しか入居できない。簡潔に言えば、物事を弁える

能力がない方がいらっしゃる中で、そのような方の身体、生命、財産を守るには、地域の皆さんの強力な連携とご助力を必要とする。さしあたっては、昨秋の事案を経て、職員の関知しないところで入居者様がどこで何をなさっておられるか、関知しないところで外出するようなことがないような設備や仕組みを構築してはいるものの、それでも絶無を期すことは困難であろう。可能性はゼロではない。

よって、今年の重点目標は、実際に当ホームの職員、地域の消防団員、地域の皆さん、それぞれがどのように動いて、それがどう連携して、当ホームの入居者様の身体、生命、財産を守っていけるか、つまり、上記2の消防運用なのである。規模の拡大を目指したときに、実際に人が動いてどうなった、という部分がしっかりしていないと、仏作って魂入れずになってしまう。

上記3の増ユニットに関しても、外から見ても、会議に出ても、ふらりと見学にきても、入居者様の顔を見たときに、よくやっているなあと周囲から思われるようであればならないと思う。

事業者として、事業者を構成する構成員の一員として、我々は何を目指さなければいけないのか。それを分かり易く一言で言うと、上記2の消防運用になったか、そのように思う次第である。

平成20年度を以上のように総括し、従って、平成21年度の運営推進会議は、上記1の消防設備、2の消防運用を重点的に進捗についての検証を行っていくことになろうかと思う。

(民生委員) 防災マニュアルのようなものは作成してあるのか。

(並 木) 防火管理者を置き、消防計画を作成し、火災発生時の対応、負傷者の救護を定めている。また消防設備（当ホームの場合、消火器等）の定期点検を行っている。避難場所は、まず当ホームの庭に避難し、小関納屋公民館に避難することとしている。しかしながら、実際には訓練等を行っておらず、今後、実際にどのような訓練を行っていけばよいか、手探りの状態である。可能であれば、4月に消防職の臨場と指導を仰ぎ、早急に訓練等実施したい。

(筒 井) 4月に消防職団員の臨場と指導を仰ぎ、早急にと言ったが、既に3月も半ばであって、スケジュール的には無理ではないか。九十九里分署はもとより、消防団にも協議の申し入れをするように。

(並 木) 了解した。しかるに、なるべく4月中に行いたい。消防計画によると、年2回訓練を行い、総合訓練と、個別訓練があり、総合訓練を4月に、個別訓練

を10月に行いたい所存である。また、職員の入れ替わりがあるたびに、容易に理解できるような資料を作成し、用意している。

(地域住民代表：地元選出A町議会議員兼消防団幹部) 開設して3年余り経過していて、避難訓練等実施していないのか。(非難は免れない) 正直、厳しい。

(並 木) 行っていない。

(筒 井) 並木の側面支援ではないが、当社介護事業部門の所長、専務の小川の前職がグループホームの経験をしており、その際、大がかりな避難訓練を実施し、入居者様が現実と訓練の区別がつかなくなり、なかなか平穏を取り戻すことができなかつた苦い経験をしており、ここまで至ってしまった。

(地域住民代表：地元選出A町議会議員兼消防団幹部) そうは言うものの、実際に訓練を行わなければならないことは論を待たない。しかも、職員の流動化(入れ替わり)もあるわけであるし、協議や会議を積極的に行ってきた形跡がみられないのはいかなることか。訓練そのものの実施が直ちに実行できなくとも、協議や会議等で文書化して残しておくことは必要である。九十九里分署、消防団も組織なので、4月に訓練を行いたいというのは分かるが、きちんと申し入れと調整を行って欲しい。申し入れと調整は、早め、早めに行って欲しい。また上記2の③については、個人情報所管する法令に抵触するか否か、よく検討してほしい。

(筒 井) 九十九里分署と地元消防団との合同訓練のスケジュールについては、4月に拘泥することなく、柔軟に調整してまいりたい。特に、A町議会議員は消防団幹部もされているので、消防団本部、地元団への調整についても是非にご協力をお願いしたい。

(地域住民代表：地元選出A町議会議員兼消防団幹部) 了解した。当ホームが良い評価を得られるように運営推進会議の委員として、また、自身の立場として協力することはやぶさかではないが、こうして町当局の職員も出席して催されている会議において、開設後3年経過で、具体的に避難訓練等行っていなかったということ自体が、当ホームの評価を下げることになることを、特に留意してほしい。罰則規定の有無に関わらず、身体、生命に関わる具体的な訓練行動をしていなかった、それ自体が、社会からどのような評価を受けるかということである。それと、小関納屋公民館が4月以降取り壊され、新築される6カ月程度使用できなくなる。

(筒 井) 小関納屋区長さんの庭を一時的に避難場所でいかがか。

(地域住民代表：小関納屋区長) うちの倉庫でもいい。2次避難場所として、最寄りの九十九里小学校もあるし、なんとかなるだろう。

(地域住民代表：地元選出A町議会議員兼消防団幹部) おそらくは竣工は年内いっぱい要するのではないか。12月頃に竣工するのではないか。

次回の運営推進会議の日程について（平成21年度第1回の日程）

- (並 木) 次回の会議の予定であるが、3ヶ月後の6月の第2土曜日、6月13日という  
ことよろしいか。
- (一 同) 異議なく了解。
- (並 木) それでは、また次回の会議の1週間程前に招請に伺う。
- (一 同) 異議なく了解。

以上、議事終了。

本件のお問合せ先  
グループホームゆうなぎ九十九里  
管理者兼ホーム長 並木 勝利  
電話 0475-70-7333